

126 鶏封入体肝炎

担当	検査チャート
家畜保健衛生所	<pre> graph TD A["(1) 疫学調査"] --> C["(3) 剖検 (肝臓)"] B["(2) 臨床検査"] --> C C -- "(死亡鶏、鑑定殺鶏)" --> C C --> D["(4) ウイルス培養試験"] C --> E["(6) 病理組織検査"] D -- "<培養細胞接種試験>
<発育鶏卵接種試験>" --> D D -- "(+)" --> F["(5) PCR"] D -- "(-)" --> G["(-)"] F --> H["(+)", "(-)"] E -- "(+)" --> I["(+)", "(-)"] E -- "(-)" --> J["(-)"] </pre>
病性鑑定施設	<p>(4) ウイルス培養試験</p> <p><培養細胞接種試験> <発育鶏卵接種試験></p> <p>(+) (-)</p> <p>(5) PCR</p> <p>(+) (-)</p> <p>(+) (-)</p>
判定・結果	<p>(+) (-) (+) (-)</p>
最終判定	<p>疫学調査、臨床検査の結果を基に、ウイルス培養試験、病理組織検査等の結果により総合的に判断する。</p>
その他	<p>ウイルスが分離されても、他の検査結果を踏まえて総合判断する。</p>

→類似疾病検査

- ① 急性中毒
- ② 125 鶏貧血ウイルス病
- ③ 117 伝染性ファブリキウス嚢病
- ④ 114 マレック病
- ⑤ 129 鶏大腸菌症

○ 病原体:鶏アデノウイルス;Fowl adenovirus [*Fowl adenovirus*, *Aviadenovirus*, *Adenoviridae*]

(1) 疫学調査

- ① 3～7週齢の肉用鶏に多発する。
- ② 死亡率は通常20%以上である。
- ① 他の病原体の関与が発病の誘因になるともいわれている。
- ④ 不顕性感染が多い。

② 発育鶏卵接種試験

材料:肝臓

方法:9～11日齢発育鶏卵の漿尿膜上に接種
(8日間培養)

判定:漿尿膜上のポック形成、漿尿膜乳剤から
寒天ゲル内沈降反応で抗原を検出

(2) 臨床検査

- ① ほとんどの場合急死
- ② 貧血を呈することがある。

(5) PCR¹⁾

材料:分離ウイルス

用途:同定、分子疫学解析

(3) 剖 検

- ① 肝臓の腫大、黄色化、脆弱化、点・斑状出血、
点・斑状の白色病巣
- ② 貧血例では骨髄の退色

(6) 病理組織検査

- ① 肝臓の出血性変化、肝細胞の著しい変性と核
内封入体
- ② 小葉性胆管の増生および偽胆管形成

(4) ウイルス培養試験(培養細胞接種試験、発育鶏卵接種試験)

- ① 培養細胞接種試験
細胞:鶏腎細胞、鶏胚肝細胞
材料:肝臓
方法:37℃で培養
判定:円形CPE、核内封入体の確認

(参考文献)

・鶏病研究会編:鳥の病気.

1) Mase, M., et al.: J. Vet. Med. Sci. 71, 1239-1242 (2009).